

第26号 2019年6月9日

■ ニュース紹介とコメント

1 建設業界の労働環境を改善／不当工期禁じる改正法が成立

作業員の長時間労働が状態化する建設業界，その改善を

<http://www.shikoku-np.co.jp/national/political/20190605000390>

2 町道陥没で大けが 賠償命じる

判決文を読まないと詳細は不明ですが、「過去に陥没したことがなかっただけで安全性が確認されたわけではなく」などとしており，広範な道路が陥没しないか現実的にチェックできるものかどうか。

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/yamagata/20190604/6020003806.html>

3 つくば市が路面劣化を自動検出するAI診断システム

<https://built.itmedia.co.jp/bt/articles/1902/13/news049.html>

4 訴訟判決文偽造，弁護士を在宅起訴，大阪地検

離婚訴訟を提起しなかったことを隠すためとのこと。しかし，どう考えても判決文を偽造する方が大変

<https://www.yomiuri.co.jp/local/kansai/news/20190605-OYO1T50034/>

5 ニセ看護師の男を逮捕へ 無資格で注射や採血した疑い

よくばれないもの

<https://www.asahi.com/articles/ASM654R5DM65UDCB00Q.html>

6 「ココイチ」創業者の資産管理会社、20億円の申告ミス

絵画を減価償却してしまった

<https://www.asahi.com/articles/ASM636251M630IPE01V.html>

7 病院が運営難 異例の資金集め

病院がクラファンでやることなのか、賛否両論

<https://news.yahoo.co.jp/pickup/6325728>

8 医師希望者に現状説明 筑波大付病院 阪本さん、清真学園で講演

https://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f_jun=15597325504709

9 中学プール事故で和解へ 名古屋市が2億円賠償

重篤な後遺障害が残ると賠償が跳ね上がる

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO45809380X00C19A6CN0000/>

【ワンポイント】

Q 労働紛争が絶対に起きない法的枠組みをつくってください（50代男性労務管理者）

A 無理です。

労働でも何でもそうですが、紛争自体が起きないようにする方法はありません。ただ、紛争は、信頼関係がなくなることから生じることが多いため、従業員との信頼関係構築をすることが、労務紛争の予防になります。

ハラスメント、残業代請求、解雇・・・どれにも当てはまります。

【今週の書籍の紹介】

茨城では稲敷市、常陸太田市の取組が紹介されています。

田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5つの法則（金丸広美 生活人人書）

「日本全国で地域活力の素晴らしい地域が出てきている。これらの地域に共通しているのは、①地域特性を明確に出していること、②生産だけでなく加工や販売や営業や宣伝までのトータルなものづくりができていること、③その土地にある景観や産物などを総合的な視点で組み合わせて演出していること、④情報発信力が高くイメージ戦略に長けていることなどである。

長崎県五島列島の北部にある小値賀島は、人口3000名、特に有名な産業もない半農半漁の島であった。ここで、民家に泊まってホストファミリーと一緒に夕食の準備をしたり、浴衣で散歩したり、漁村の暮らしに触れたりと体験型観光が注目された。小値賀が注目されたのは、「そのままの日本」があったからである。海や山と共存した暮らしをするなど、その土地に住む人々がその土地にもともとあるものを再検討し、プログラム化したことが成功を決定づけた。従来の団体旅行にあるように団体バスで移動し、有名ホテルに止まり、観光土産店にいくなど効率的に団体を送り込む方法では、地域特性が出てこない。地域が地域を知り、地域特性が生きる企画が求められている。